

「令和5年度多治見市資金運用実績」の公表について（報告）

1 はじめに

会計管理者は、毎年度の歳計現金、歳入歳出外現金及び基金積立金の保管と運用を行っており、「多治見市資金管理運用方針」に基づき令和5年度の運用実績を公表するもの。

2 歳計現金・歳計外現金の管理運用実績

会計管理者が管理する現金は、日々の支払いに充てる「歳計現金」と市県民税や職員の所得税、保険料などを一時的に預かっている「歳計外現金」がある。

通常は決済性預金で保管をしているが、すぐに支払いを行わない資金については1年未満の定期預金で運用。

表1 歳計現金及び歳計外現金の保管、運用実績

区分		現金残高	決済性預金（注1）	定期預金
平均月末残高	R3	5,629,487千円	3,754,487千円	1,875,000千円
	R4	5,835,987千円	4,585,987千円	1,250,000千円
	R5	6,210,500千円	4,585,500千円	1,625,000千円
年間利子額	R3	751千円	—	751千円
	R4	503千円	—	503千円
	R5	503千円	—	503千円
平均年間利率	R3	0.013%	—	0.040%
	R4	0.009%	—	0.040%
	R5	0.008%	—	0.031%

※（注1）決済性預金は、全額保全される代わりに利子が付かない預金（基金も同様）

3 基金の管理運用実績

本市では、現在35の基金を設置。基金の現金は決済性預金で保管を行い、当面基金を取り崩す予定のない部分については、定期預金及び債券（国債・地方債・政府保証債）で運用。

表2 基金の保管、運用実績

区分		基金全体	決済性預金	定期預金	債券
平均月末残高	R3	25,834,741千円	4,357,299千円	17,658,229千円	3,819,213千円
	R4	27,063,011千円	6,016,656千円	17,191,523千円	3,854,834千円
	R5	27,392,480千円	6,556,386千円	16,945,733千円	3,890,362千円
年間利子額	R3	47,837千円	—	23,858千円	23,979千円
	R4	40,291千円	—	15,673千円	24,618千円
	R5	38,689千円	—	13,089千円	25,600千円
平均年間利率	R3	0.185%	—	0.135%	0.628%
	R4	0.149%	—	0.091%	0.639%
	R5	0.141%	—	0.077%	0.658%

4 まとめ

(1) 歳計現金及び歳計外現金

- ①引き続き基金の繰替運用を活用しながら定期預金の預入金額の確保に努めてきている。
- ②預金利率が低い中でも効率的な運用に努めたが、年間利子額は対前年度と同額の50万3千円。

(2) 基金

- ①平均月末残高は273億9,248万円で前年度から3億2,947万円の増加。
- ②年間利子額は3,869万円と対前年度160万円の減少。
- ③定期預金の利子額は対前年度258万円の減少（日本銀行の金融緩和政策等が継続され定期預金の利率が極めて低いため）。

(3) 公金支払等に係る手数料の有料化

日本銀行が大規模な金融緩和の柱としてきたマイナス金利政策を解除し、金利引き上げの傾向はみられるものの、地方銀行をはじめとした金融機関の経営合理化も著しい。これまでは無料とされた公金にかかるサービスが取扱手数料等として有料化されており、公金支払いにかかる手数料圧縮の工夫が必要不可欠。

(4) 金利引き上げ等、運用益の確保には好ましい状況を迎えつつある。定期預金での運用はもとより、債券の効率的な運用も含め、資金管理運用方針にのっとり、今後も確実かつ有利な資金運用に向けた検討と実践に努める。